

町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



「酒好き医師が教える
最高の飲み方」
著 葉石かおり

酒は毒か薬か？最新の医学で分かった正しい飲みかたを解説します。

町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「1日10秒で効く
かんたん疲れ目ケア」
笠倉出版社

簡単なツボ押しやストレッチから始めてみよう。
たった10秒、1分で目がスッキリするかもしれませんよ。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中からおすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介いたします。

長島文芸

Nagashima Bungai ながしまぶんげい

明神俳句会

空木咲く金鉱山の廓跡
手裏剣の如く燕の通り過ぐ
清明や西郷嘆く政
山住みの風つれづれの落花かな
擁壁の子等の壁画や風薫る
最終の汽笛沖へと月朧
物種蒔く母の残せし小菜園
母のため彼岸ばたもち作りけり
地平線見ゆる島影暮遅き
蜜柑咲くここが故郷胸にあり
風光る補助線見えし五時限目

淵脇 護
山寄加代子
白男川孝仁
迫口 君代
二階堂妙子
関 佳代美
大堂 正弘
二階堂恵子
坂口 静子
大堂 早苗
脇田 武志

長島短歌会

積雪と見まがふほどの霜降りて日の差しくれば屋
根屋根まぶし
黄昏て風ぎし海面に漁火の遠くかすかに霞みて見
ゆる
束縛を解かれ十年すぎたれど在りし日のまま夫は
夢に顛つ
浜畑 松枝
帰省せる子らと賑やか語らへば亡夫の写真もほほ
糸みて見ゆ
松元 睦子
緑増す広野の島ゆたかさよ続く石段陽に光りを
り
市尾 操
港内の係留船に出入りせし燕忙し巢作りならむ
岩下 ち江
透き通る鶯の声聞こへきて聞きあまる心清められた
り
岩下 房代
閉校の記念誌にのこる同窓名傘寿となりて顔の額
ちをり
櫻平 頼子
枯れ松の岬の城跡いつよりか萌黄色なる若葉盛り
ぬ
米尾 和子

創世短歌会

訪へば医師なく閉院の裏庭に真紅のつつじ華やぎ
て咲く
坂之下典子

寄り添える子なき夫婦にこの春の庭の桜は咲き渡
りたり
竹之内重信
足腰の達者に息もあがらずに走り続けり夢の中に
て
宮元 司
よその子の祝いの帯を結びやる十九、二十の肉か
ぐわしき
石原百合子
犬引きて行く人紐の先の犬犬立ち止まれば人立ち
止まる
村上 義彦
長茄子の花うつむきてこの朝をひとつ開けりその
色淡し
野村 益信
お隣のガラスに夕日が跳ね返りわが厨辺の鍋を照
らせり
大塚 洋子
今日も又馴染みの猫が庭に来てただ座りおり欠伸
をしつつ
山下 学

一般作品

「短歌」
あの頃は角刈り文太気取りしの弟のアゴ白毛生え
おり
小林 貢
もう古稀かいやまだ古稀か白寿までしばらくある
ぞと指折りて見る
小林 如月
主なくも柿の若葉はかさなりて光りをあびて風心
地よし
中飯屋辰子
レジの娘の大きなマスク今朝はなし花粉少なや声
弾みをり
母木 良平
世に生れ生る事など難かしい勝抜く事よ負てはな
らぬ
町田 末則

「俳句」
受け付けの女性は何処も美女ばかり
宗方 枕流